

市政について 渡部修市長

磐田市は合併して来年で10年になります。市長として約5年半になりますが、私自身が意識していますのは、見える化です。市のやってきたことやこれから目指す方向などを知って頂こうということでA3裏表の資料にまとめてあります。

まず、これまでに完了した主な事業の「②光ファイバ網の整備」ですが、東名から北側は光ファイバ網が入っていませんでした。企業誘致であちこち回っておりますが、高速通信がなければ、企業にいくら来てほしいと思っても、来る時代ではありません。今では豊岡の虫生や万瀬まで入っています。新東名では、スマートインターチェンジの建設に入っており、工業団地を整備し、そこに1社決まっています。

「⑪周産期母子医療センターの新設」は、昔は、普通分娩が当たり前だったような時代が間違いなくあったのですが、今は未熟児で生まれるお子さんが非常に多くなってきてまして、それを支える、母子ともに守っていこうということで行いました。「⑫市立病院外来東館（腫瘍センター）の開館」では最先端の放射線治療器を磐田病院は2台入れています。また、以前は「あと1週間ぐらいおいといて」となれば「わかりましたよ」って時代はあったんですが、次から次に、先端・先進医療を待っている人がいるものですから、入院日数をどんどん、減らすような形で来てます。

現在継続中の主な事業の中の「(1)①J R新駅の設置」は、議会で請願を採択したのは約30年近く前です。最近出た話でしたら、100%やりません、というふうに答えます。30年前からスタートした事業で、駅ができるという前提で区画整理をやって、土地を約30万坪動かしているんです。逆の決断はできません。合併した新しい地域から見ると、そういう経過はあまり知りませんので、いるいらないの議論はあります。合併した磐田市だからこそ、大きな課題はできるだけ早く取り組み、次の発展のために全精力を傾けるということがひとつのやり方と思います。

「(2)①広島平和記念式典への小中学生派遣」は、小中学生34人が行っているわけですが、子供たちと、現場で一緒に行きますと、顔が変わるんです。今年も土砂降りの中でも、誰1人愚痴1つ言



いませんでした。今年も昨年同様、安倍総理の話を目撃でき、そして、駐日大使も100人近く来ておられて、顔も身近で見たでしょう。平和や豊かさというのは簡単にできたものじゃないんだよ、ということを、学校教育以外で知ってもらいたいなどの思いがあります。

「(2)④保育所入所枠拡大プロジェクト実施」は、定員を400人拡大していこうということで行っています。23園あった幼稚園が、ほとんど定員割れ、そして保育園は、作っても定員を増やしても、まだまだ足りない。これは今の時代たることかもしれません。母親が家にいるのが当たり前の時代が間違いなくありましたが、今は共稼ぎが当たり前の時代です。そうすると、とにかく枠を広めようということで、新設の保育園を作っておりますし、認定こども園も進めております。

「(2)⑥しっぺいを市民自慢のキャラクターに」は、皆さんありがとうございました。一時は17位まで落ちて、どこまで落ちてくんだろうと思った時がありましたが、皆さんのおかげで、ベスト10に今年も入りました。しっぺいを1つのシンボルとして皆で応援して、子どもたちが喜ぶ顔をみたいという思いです。

私は、1期目は変えよう磐田をスローガンにし、2期目は挑戦しようということのスローガンにしています。「⑦小中一貫教育の推進」も含めて、子育てだったら、教育だったら磐田市と言われるようにしたいと思います。子供が若者になった時に、私たちが若い頃よりも間違いなく厳しい時代だと、僕は思ってます。思いやりがある優しい

子、プラス、たくましく育ててもらいたいという思いです。

「(3)①高齢者等交通弱者の足の確保」は、足の悪い方は、例えば、1キロくらい先にバスの停留所があるが、そこまで、当然いけない、タクシーを頼めば、行先も時間も自由ですが、費用もかかるということで、デマンド型タクシーを竜洋地区から始めました。1人で住んでいても、磐田だったら生活できるというイメージを持っています。

財政状況の棒グラフがあります。この起債残高、起債というのは借金とってください。私が議員時代は、1,350億円を超えないことが、市の目標でございました。平成26年度決算見込みでは、それから200億円くらい減るだろうと思ってます。これは、減らせないとすると、1%の金利だけで2億円出てきます。減らすことができれば、その分の2億円の事業ができるということです。1番右の棒グラフは、市の職員を1,000人体制をまずやろうというものです。重複しているような事業を見直したり整理整頓したりして進めてきまして、この後で、950人でやればそれもよし、1,050人が必要だったら、それもよしということで、やっております。

新たな事業の「(1)①こども憲章の制定」は、家庭でも地域でもしっかりと、社会でもたくましく思える子に育てていこうということで、憲章を高々と掲げていきたいと思っています。

「(3)④(仮称)新磐田スマートIC設置」は、平成29年3月供用開始予定です。北側に工業団地を造成しています。1社決まっております、造成が完了するまでにはあと3区画埋めたいなという思いでやっております。

「(5)①市歌の制定」ですが、旧市町村で歌があったところがありますが、合併し、なくなりました。ですから、いろんなところで口ずさんでいただけるように、皆さんで作る磐田の歌として、行ってきたいと思います。

「(5)③道路照明・公園照明灯のLED化」は、防犯灯は20Wの蛍光灯が多いのですが、自治会が管理する防犯灯を1年でLEDに変えてしまおうということです。その後は、地域で今まで通りお願いしますという形で、昨年自治会長さんに、どこになにかあるかを、調べてもらいました。業者さんで組合を作って、市の事業にみんなで携わってもらってという思いで進めています。

防災事業の「5①静岡モデルによる静岡県と連携した防潮堤整備」についてですが、工事着手しました。基金を作って皆さんにも協力をお願いしていることありますが、約14mの高さ、天盤を5m幅にして、植樹をしてもらって、公園的なサイクリングだとか、歩くのにもいいというイメージで行っています。

「5②災害用マンホールトイレの整備」は、被災地に行った際に、皆さん幾度もおっしゃられたのは、水とトイレのことです。女性やひざの悪い方は大変苦勞されたそうです。1番下の断面図の右のように汲み取り式のトイレだと思ってください。普段は蓋をしておき、災害となった場合には、蓋をあけて、そして、1人1人用のテントを張って、洋式のトイレにしていくことを、今年度中にやろうとするものです。

「磐田市公共施設白書かわら版」は、公共施設の現状を皆さんに知ってもらおうということでまとめてあります。公共施設の全体の43%を教育施設が占めています。これらは、建設が昭和30年代からになっていますが、一斉に老朽化が進んでしまっています。鉄筋コンクリートの耐用年数は60年と言われていますが、建替え計画がありません。ですので、幼稚園保育園の整備を進め、そして、学校ということを考え、今構想を作らせています。小学校中学校33校を全部新築にしていくことは、できるものではありません。老朽化のままで、ほっておくのではなくて、整備していかなくてはという思いです。

リーマンショックや3.11以降は、みんなで支えあおう、助け合おう、応援し合おうという世の中に、間違いなくなっていると思っています。そういうことが、自然な中でできて、例えば、磐田の地域に、ある人が土地を買って引っ越して来たら、近所の人が出迎えるときに、にこにこ笑いながら、不安があったら言ってきてよ、というようなことが、どこの地域でも見られるような磐田に、また、多くの方に磐田は良いなと思ってもらえるようにと思っています。

